

A 会場（11 階 中会議室 1101）

9:55 開会の辞

中枢神経 1

座長：山田清文、大澤匡弘

- 10:00 A-1 Lysophosphatidic acid 誘発機械アロディニアにおける TRPV1 発現神経の関与
○勝弘毅¹、大澤匡弘¹、宮辺裕輔¹、山本昇平¹、糸和彦¹、小野秀樹²
¹名市大院・薬・神経薬理学、²武蔵野大学・薬・臨床薬剤学
- 10:12 A-2 新生仔期 polyI:C 処置マウスの異常行動に対する抗精神病薬の効果とプロテオーム解析
○永井拓、千崎康司、Yu Jinghua、山田清文
名古屋大学大学院医学系研究科医療薬学・附属病院薬剤部
- 10:24 A-3 シクロホスファミド誘起膀胱炎・膀胱痛に対する NK1 受容体拮抗薬および curcumin の効果：硫化水素 / T 型カルシウムチャネル系の上流シグナルの解析
○尾崎友香、坪田真帆、西浦佳那恵、川畑篤史
近畿大・薬・病態薬理
- 10:36 A-4 ノルアドレナリンによるアストロサイトを介した神経保護作用に対する MRP1 siRNA の影響
○吉岡靖啓、生田恵梨子、門居久嗣、山室晶子、石丸侑希、前田定秋
摂南大・薬・薬物治療学
- 10:48 A-5 TNF- α 及び IFN- γ による脊髄アストロサイトにおける Cx43-gap junction の発現制御機構
○張芳芳¹、森岡徳光¹、北村智哉²、中村庸輝¹、中島(久岡)一恵¹、仲田義啓¹
¹広島大学大学院医歯薬保健学研究科薬効解析科学、
²広島大学薬学部薬学科

- 11:00 A-6 A β およびその変異体による成体マウス海馬ニューロン新生抑制作用
 ○久米利明¹、岩尾歩美¹、入江一浩²、泉安彦¹、赤池昭紀^{1,3}
¹京都大院・薬・薬品作用解析、²京都大院・農・生命有機化学、
³名古屋大院・創薬
- 11:12 A-7 GAPDH 凝集阻害による新規アルツハイマー病治療薬の創製
 ○東田周作、久保岳也、板倉正典、中嶋秀満、東泰孝、竹内正吉
 大阪府大・院・生命環境・獣医・応用薬理
- 11:24 A-8 小胞体ストレス神経細胞死に対するゾニサミドの保護作用
 ○辻井佐織、石坂光絵、鶴間一寛、嶋澤雅光、橋爪孝典、田川正秋、
 原英彰
 岐阜薬大・薬効解析、大阪大谷大・薬物動態学、大日本住友製薬
- 11:36 A-9 メチル水銀誘発性神経細胞死における小胞体ストレスの関与
 ○奥田洸作¹、牧野堅人¹、外山喬士²、西屋禎¹、岩脇隆夫³、
 熊谷嘉人³、上原孝¹
¹岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬効解析学、
²筑波大学大学院医学医療系環境医学分野、
³群馬大学先端医学生命科学研究チーム

- 13:30 A-10 苦参由来 T 型 Ca^{2+} チャネル阻害物質の検索：ヒト Cav3.2 発現 HEK293 細胞における電気生理学的検討とマウスにおける硫化水素誘起痛過敏に対する抑制効果の評価
○藤田友代¹、関口富美子¹、出口貴浩²、吉田繁³、村田和也²、松田秀秋²、大久保つや子⁴、川畑篤史¹
¹近畿大・薬・病態薬理、²近畿大・薬・薬用資源、³近畿大・理工・生命科学科、⁴福岡歯科大・細胞分子生物
- 13:42 A-11 神経幹細胞に発現するグルタミントランスポーターSlc38a1 の機能解析
○国保博史、中里亮太、檜井栄一、宝田剛志、米田幸雄
金沢大院・薬・薬物学
- 13:54 A-12 ラット松果体細胞における Ca^{2+} 活性化 Cl^- チャネルの機能発現
○西村歌織、山村寿男、今泉祐治
名市大・院薬・細胞分子薬効解析学
- 14:06 A-13 G 蛋白質制御内向き整流性 K^+ チャネル Kir3.2 の恒常活性型変異の構造基盤
○稲野辺厚¹、中川敦史²、倉智嘉久¹
¹大阪大学大学院医学系研究科分子細胞薬理学講座、²大阪大学蛋白質研究所
- 14:18 A-14 脳虚血性耐糖能異常を介した神経障害の発現に対する脳内 sodium-glucose transporter 3 の関与
○山崎由衣、原田慎一、徳山尚吾
神戸学院大学薬学部臨床薬学研究室

- 14:30 A-15 長鎖脂肪酸受容体 GPR40 アゴニストの GW9508 による抗うつ様作用
○西中崇、中本賀寿夫、徳山尚吾
神戸学院大学薬学部臨床薬学研究室
- 14:42 A-16 セロトニン_{1A}受容体、 σ_1 受容体相互作用による大脳皮質ドパミン遊離調節における GABA_A受容体の関与
○森和也^{1,2}、平松直樹²、西村 明²、吾郷由希夫²、田熊一徹²、松田敏夫^{2,3}
¹大阪大学薬学部薬学科、
²大阪大学大学院薬学研究科薬物治療学分野、
³5 大学連合小児発達学研究科
- 14:54 A-17 GABA_B受容体作動に伴う NMDA 誘発性ミトコンドリア膜電位変動の抑制
○倉本展行¹、杉村怜²、岩崎要人¹、荻田喜代一²
¹摂南大・薬・毒性、²摂南大・薬・薬理
- 15:06 A-18 ラット孤束核 2 次ニューロンにおけるシナプス伝達に対する、シナプス前 NMDA 受容体の関与
○大井義明、小川美佳、木村聡子、櫛彰
愛知学院大・薬・応用薬理
- 15:18 A-19 脳特異的転写因子 Npas4 欠損マウスにおける異常行動と GABA 作動性神経系マーカーの変化
○日比(古川)陽子、横井順平、永井拓、山田清文
名古屋大学大学院医学系研究科医療薬学・附属病院薬剤部

- 15:30 A-20 長期増強下および神経障害性疼痛下における C-線維誘発性 field-potentials に対する cilnidipine の作用
○山本昇平¹、鈴木悠馬¹、大澤匡弘¹、糸和彦¹、小野秀樹²
¹名古屋市大院・薬・神経薬理学、²武蔵野大・薬・臨床薬剤学
- 15:42 A-21 ホルマリン誘発性疼痛時における線条体リン酸化 ERK の機能
○泉宏樹、中村庸輝、中島(久岡)一恵、森岡徳光、仲田義啓
広島大学大学院医歯薬保健学研究科薬効解析科学
- 15:54 A-22 遺伝子組換えヒト可溶性トロンボモジュリンは HMGB1 シグナルを抑制することでパクリタキセル誘起神経障害性疼痛モデルにおいて予防および治療効果を示す
○川石雄大¹、山西広樹¹、坪田真帆¹、西堀正洋²、石倉宏恭³、川畑篤史¹
¹近畿大・薬・病態薬理、²岡山大院・薬理、³福岡大・医・救命救急
- 16:06 A-23 乳幼児期ストレスは慢性痛悪化のリスク要因である
○溝口博之、坂本岳、福本和哉、佐藤純
名古屋大学環境医学研究所近未来環境シミュレーションセンター
- 16:18 A-24 幼若期マウスへの社会敗北ストレス負荷による社会性行動障害と神経新生低下におけるグルコルチコイドの関与
○谷口将之¹、鶴飼麻由¹、肥田裕丈¹、長谷川章¹、森健太郎¹、山田清文²、鍋島俊隆³、尾崎紀夫⁴、毛利 彰宏¹、野田幸裕¹
¹名城大学大学院薬学研究科病態解析学 I、
²名古屋大学大学院医学系研究科医療薬学、
³名城大学薬学部地域医療薬局学講座、
⁴名古屋大学大学院医学系研究科精神医学
- 16:30 閉会の辞
第 124 回 日本薬理学会近畿部会長 挨拶